

令和7年度から使用する広島市立中学校用教科用図書の採択結果

種 目	発 行 者	書 名
国 語	光村図書出版	国語
書 写	光村図書出版	中学書写
社 会 (地理的分野)	東京書籍	新編 新しい社会 地理
社 会 (歴史的分野)	東京書籍	新編 新しい社会 歴史
社 会 (公民的分野)	東京書籍	新編 新しい社会 公民
地 図	帝国書院	中学校社会科地図
数 学	学校図書	中学校 数学
理 科	新興出版社啓林館	未来へひろがるサイエンス
音 楽 (一 般)	教育芸術社	中学生の音楽
音 楽 (器楽合奏)	教育芸術社	中学生の器楽
美 術	光村図書出版	美術
保健体育	大修館書店	最新 中学校保健体育
技術・家庭 (技術分野)	開隆堂出版	技術・家庭 技術分野 テクノロジーに希望をのせて
技術・家庭 (家庭分野)	開隆堂出版	技術・家庭 家庭分野 自立しともに支え合う生活へ
英 語	東京書籍	NEW HORIZON English Course
道 徳	日本文教出版	中学道徳 あすを生きる 中学道徳 あすを生きる 道徳ノート

令和7年度から使用する広島市立中学校用教科用図書採択理由

(広島市)

教 科	種 目	発 行 者	採 択 理 由
国語	国語	光村図書出版	本市生徒の課題である「文脈に即して漢字を正しく書くこと」「読み手の立場に立って、叙述の仕方などを確かめて文章を整えること」「多様な表現に言い換えるなど、語彙の定着」また、全国的な課題でもある「情報と情報の関係について理解すること」「文章を読んで理解したことなどを知識や経験と結び付けて、自分の考えを広げたり深めたりすること」に対応する教科書として、以下の理由のとおり、光村図書出版の教科書が、本市で使用する教科書としてよりふさわしいと考える。 (理由) - 本文中で使われた言葉について、必要に応じて脚注で解説している。また、本文中で使われた言葉の関連語句を複数脚注に示している。 - 複数の教材の「学びのカギ」に言葉の観点から学びを深め、自分の言葉を増やすための「言の葉ポケット」を示している。また、自分の思いや考えを多様な表現に言い換えるための教材として本編の最後に語彙ブックを付録している。さらに、いくつかの教材では語彙ブックとの関連を示しており、学習した内容や語彙について広げたり深めたりすることができるよう工夫している。 - 各学年巻頭の「思考の地図」において、学習内容に合わせた場面や目的に応じたさまざまな思考法（考え方）を示している。「広げる」、「思い出す・ふり返る」、「比較する・分類する」、「順序だてる・関係づける」、「分析する・吟味する」、「仮説を立てて検証する」
国語	書写	光村図書出版	本市生徒の課題である「場や目的に応じて表現の効果を考えながら、書写で学習した内容を自らの生活に生かすことができていない」ことに対応する教科書として、以下の理由のとおり、光村図書出版の教科書が、本市で使用する教科書としてよりふさわしいと考える。 (理由) 3年生のはじめの教材として漫画「手書きのよさってなんだろう」を通して手書き文字のよさについて話合わせた上で、「全国文字マップ」を設け、身の回りにある様々な文字について示し、文字から受ける印象や気づいたことについて話し合えるよう工夫している。 - 切り離し可能な「書写ブック」を設け、学習したことを生かして書いたり、学習した内容の確認をしたりする機会を多く設けることで、書写で学んだことを日常生活に生かすことができるよう工夫している。 34ページ「学習の進め方」で「考えよう」、「確かめよう」、「生かそう」の学習の展開を示し、見通しをもたせるよう工夫している。また、「教科書通りに書くことができればいいの?」という問いから学びの深め方について示している。さらに「タブレットを活用しよう」で具体的なタブレットの活用例を示し、効果的な活用を促している。 「自分らしい文字」では、生徒もよく知る著名人の手書き文字を紹介し、手書きの文字への興味・関心を高めるよう工夫している。

教科	種 目	発行者	採 択 理 由
社会	社会 (地理的分野)	東京書籍	本市生徒の課題である「身近ではない国や地域については興味・関心を持ちにくいことや、学習課題の解決への見通しを立て、収集した情報を課題解決に向けてまとめながら、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力に課題があること」に対応する教科書として、以下の理由のとおり、東京書籍の教科書が、本市で使用する教科書としてよりふさわしいと考える。 (理由) 「えんぴつマーク」を付し、小学校の社会科やコーナー「スキル・アップ」などで身に付けた技能を活用するために「中国・四国地方は、地方内や、ほかの地方とどのような交通網で結び付いているか、説明しましょう」等の活動を随所に設定している。また、特設ページ「資料から発見！」を設けており、資料を読み取る力や、考える力、説明する力を身につけるための活動を設定している。 - 課題を解決する際の視点や方法である地理的な「見方・考え方」を、「導入の活動」や「まとめの活動」、「えんぴつマーク」、「スキル・アップ」、特設ページ「資料から発見！」、コーナー「みんなでチャレンジ」の随所に示しており、思考・判断したことを説明する際に役立てることができるようにしている。 「まとめの活動」において、「グループ活動」と「個人活動」を行うコーナー「みんなでチャレンジ」を設け、「取り上げた資料や文章を発表し合いましょう。」等の対話的な学びを促すことができるようにしている。 - アジア州を学習する冒頭ページでは、アジア州に関わる様々な写真や資料を掲載するとともに、「聞かせて！中学生」やアジア州の主な国の国旗とあいさつを掲載し、興味・関心を持たせることができるようにしている。また、「アジア州で学んでいくこと」で、アジア州を通して学習する課題を1つずつ示すことで、学習の見通しを持たせることができるようにしている。さらに、本文ページのタイトルの上にサブタイトルを示しており、本文ページで学習する内容を短い言葉で表すことで、これから学習する内容について興味・関心を持たせることができるようにしている。
社会	社会 (歴史的分野)	東京書籍	本市生徒の課題である「歴史の大きな流れや特色を理解する力、学習課題の解決の見通しを立て、収集した情報を課題解決に向けてまとめながら、複数の立場や意見を踏まえて公正に選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力に課題があること」に対応する教科書として、以下の理由のとおり、東京書籍の教科書が、本市で使用する教科書としてよりふさわしいと考える。 (理由) - 課題を解決する際の視点や方法である歴史的な「見方・考え方」を、「導入の活動」や「まとめの活動」、「えんぴつマーク」、特設ページ「資料から発見！」、「地域の歴史を調べよう」、「もっと知りたい」、コーナー「みんなでチャレンジ」の随所に示しており、思考・判断したことを説明したりする際に役立てることができるようにしている。また、4ページにわたる「まとめの活動」の「確かめよう」、「ふり返ろう」において、見開きを使って各節の問いを解決する活動を設けている。さらに、「深めよう」において、時代の変化に着目しながら、時代の特色を考察するために、くらげチャートやフィッシュボーン図等の様々な思考ツールを用いた活動ができるようにしているとともに、コーナー「みんなでチャレンジ」を設け、対話を促す活動を設定している。 - 中項目の冒頭では、「導入の活動」を設けており、資料等から時代の特色を捉えるための探究課題と関連した活動を設定している。また、中項目の課題を「探究課題」として示すとともに、「探究のステップ」で各節の追究する課題を示すとともに、節を通して学習する課題を一つずつ示しており、学習の見通しを立てることができるようにしている。また、本文ページのタイトルの上にサブタイトルを示しており、生徒にとって耳慣れない歴史的な事象を学習する際の興味・関心を持たせるための工夫が見られる。 - 原爆投下について、本文で説明をしており、関連する資料として「廃きよになった広島」、「長崎に落とされた原子爆弾」を掲載している。また、特設ページ「地域の歴史を調べよう」を設け、「被爆建物の保存と継承」をテーマに、広島市を取り上げ、被爆建物を継承することの意義を考える活動を設定しており、広島市を題材にして学習することができるようにしている。

教科	種目	発行者	採 択 理 由
社会	社会 (公民的分野)	東京書籍	本市生徒の課題である「政府の役割や民主政治の仕組みなど、生徒があまり身近に感じにくいような社会的事象については興味・関心を持ちにくいことや、学習課題の解決の見通しを立て、収集した情報を基に、現代社会に見られる課題について公正に判断したりする力や、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力に課題があること」に対応する教科書として、以下の理由のとおり、東京書籍の教科書が、本市で使用する教科書としてよりふさわしいと考える。 (理由) ・ 「まとめの活動」や特設ページ等の随所に、どのような「見方・考え方」を働かせるかを示しており、思考・判断したことを説明する学習を行う際に役立てることができるようにしている。また、「まとめの活動」において、「探究のステップ」で節の問いを解決する活動を設定し、「深めよう」では、ウェビングやYチャート等の活動内容に応じた複数の思考ツールを用いながら、「導入の活動」で示された課題と関連した発展的な課題について考察する活動を設定しており、単元で学んだことを活用できるようにしている。 ・ 各中項目最後の「まとめの活動」において、語句などの確認を行い、「探究のステップ」として、「節の問いを解決しよう」を設け、段階的に振り返りながら単元の課題を解決することができるようにしているとともに、コーナー「みんなでチャレンジ」を設け、対話を促す活動を設定している。また、「まとめの活動」以外のページにおいても、随所にコーナー「みんなでチャレンジ」を設け、「グループで話し合った内容について発表しましょう」、「もっと良い方法はないか、グループで話し合いましょう」等の活動を行えるようにしている。 ・ 中項目の冒頭では、現代社会の見方・考え方を付した「導入の活動」を設けており、探究課題と関連した活動を設定しているとともに、その「探究課題」を冒頭に示し、節を通して学習する課題を一つずつ示すことで、学習の見通しを立てることができるようにしている。また、本文ページのタイトルの上にサブタイトルを示しており、生徒にとって身近に感じにくいような社会的事象を学習する際の興味・関心を持たせるための工夫が見られる。
社会	地図	帝国書院	本市生徒の課題である「種類や縮尺の違いによる多様な利用の仕方や、主題図、その他統計や写真など、たくさんの地理情報を活用し、例えば、気候図を併用して降水量の分布と土地利用の関係を明らかにするなどの事象間の関係を読み取る力や、地図から地域的特色を捉え、地域の課題を見いだし考察したりする力に課題があること」に対応する教科書として、以下の理由のとおり、帝国書院の教科書が、本市で使用する教科書としてよりふさわしいと考える。 (理由) ・ 段彩図を用いて、陸地の高さや海の深さを表しているとともに、世界では、鳥瞰図を用いて立体的に表している。また、日本の各地域の地図では、山の稜線を加えて立体感を表現しており、地図を活用しながら学習する際に、対象となっている地域の地形を立体的に捉えることができるようにしている。 ・ 主題ごとの特設ページを設け、主題図やグラフ等の資料を見開きページでまとめて掲載していることで、複数の資料を関連付けることができるようにしている。また、ページ全体に関わる問いを「主題学習」の欄を設けて示しており、問題解決的な学習を促すようにしている。 ・ 巻末では、自然の統計に加え、世界の統計、日本の統計を9ページにわたり掲載しており、地図帳を活用して学習する際に、多くの情報を取り出すことができるようにしている。

教 科	種 目	発 行 者	採 択 理 由
数学	数学	学校図書	本市生徒の課題である「数学を活用して日常生活や社会の事象を論理的に考察すること、数学的な表現を用いて説明すること、基礎基本の定着のための手立てが必要であること」に対応する教科書として、以下の理由のとおり、学校図書の教科書が、本市で使用する教科書としてよりふさわしいと考える。 (理由) - 目次の「～で学んだこと」で各領域と関連のある既習事項を示している。また、側注の「ふりかえり」および巻末の「～の計算」で関連する既習事項を示している。さらに、各領域を学習する前に「ふりかえり」のページを設け、その領域の既習事項を振り返っている。それにより、学習につまずいている生徒がこれまでの復習をするときに、どの学年のどの内容の復習を行えばよいか理解し、基礎的・基本的な知識・技能の習得につながる学習が行いやすくなる。 - 巻末で数学的な見方・考え方についての特設ページ「『見方・考え方』をまとめよう」を設けている。また、学習内容と数学的な見方・考え方を関連付け、問題解決の流れの図を添えて示している。それにより、問題解決の過程でどのような数学的な見方・考え方を働かせればよいか分かるようになっている。 - 学習の区切りに「どんなことがわかったかな」や各章末に「○章『～』を学んで」のコーナーを設け、学習を振り返ることができるようにしている。また、「どんなことがわかったかな」の横の「次の課題へ」の欄に次の学習につながる疑問に関連箇所のページ数を添えて示している。それにより、生徒が学習内容を関連付け、見通しを持ちながら学習を進めることができる構成になっている。
理科	理科	新興出版社啓林館	本市生徒の課題である「知識及び技能の習得や、それらを活用すること、観察実験の結果を分析・解釈することに課題が見られる。」ことに対応する教科書として、以下の理由のとおり、新興出版社啓林館の教科書が、本市で使用する教科書としてよりふさわしいと考える。 (理由) - 各章末に、学習内容を確認するため、問題演習を行う「Review－ふり返ろう」を設け、二次元コードから問題演習、ふり返りシートへアクセスできるようにしている。また、各単元末に基本事項を確認するための「学習のまとめ」と問題演習を行う「力だめし」を設け、二次元コードから問題演習へアクセスできるようにしている。さらに、各学年の巻末に、問題演習を行う「学年末総合問題」を設け、第3学年の巻末には、問題演習を行う「中学校総合問題」も設けている。 - 各学年の「サイエンス資料」で、安全に実験を行うために、実験前、実験中、実験後の説明をチェックリストにしている。また、廃液や廃棄物の処理、「気をつけたい実験操作」を示し、事故が起きた場合の対処方法、応急処置の方法も掲載している。さらに、実験中に地震が起きたときの対処を「地震発生直後」「ゆれがおさまったら」に分けてチェックリストにしている。 - 各学年4箇所、各単元にある1つの実験・実習を「探Q実験・実習」として、探究の過程に沿って疑問を解決する活動を設定している。また、巻末に探Q実験・実習に対応した「探Qシート」を設けている。さらに、「みんなで探Qクラブ」として、学習内容から生じた疑問を探究する活動を設定している。

教 科	種 目	発行者	採 択 理 由
音楽	音楽 (一般)	教育芸術社	本市生徒の課題である「生徒によって音楽経験の差が大きく、興味を示す音楽に偏りがあり、我が国や郷土の伝統的な音楽など多様な音楽に親しみ、よさを味わったり、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化についての関心や理解を深めたりすること」や、「音楽を知覚したことや感受したこととの関わりについて考え、音楽表現を創意工夫したり音楽のよさや美しさを味わって聴いたりすること」に対応する教科書として、以下の理由のとおり、教育芸術社の教科書が、本市で使用する教科書としてよりふさわしいと考える。 (理由) ・ 音楽表現を創意工夫することができるよう、学習内容や手順を示し、知覚・感受したことや表現の工夫などを記述する場面を設定したり、作品例やワークシートを掲載したりしている。また、生徒や教師のキャラクターに吹き出しを付し、各学習場面において気付きや思考を促したり、友達と意見交換する場面での対話を例示したりしている。 ・ 音楽のよさや美しさなどを味わって聴くことができるよう、学習の手順を示すとともに、聴き取ったことや感じ取ったこと、曲の批評文などを書き込む部分を設けている。 ・ 生徒が、主体的に生活や社会の中にある様々な音や音楽に関わることができるよう、音や音楽の果たす役割や音楽に関わる仕事などを紹介する特集を、写真やイラストとともに全学年に掲載している。 ・ 我が国や郷土の伝統的な音楽、アジア地域の諸民族・諸外国の音楽、ポピュラー音楽など、多様な音楽を扱う教材や資料を掲載している。また、生徒が親しみをもつことができるよう、特集や裏表紙で、地域に伝わる祭りや芸能に関わる同世代の中学生の取り組みを紹介している。
音楽	音楽 (器楽合奏)	教育芸術社	本市生徒の課題である「生徒によって音楽経験の差が大きく、興味を示す音楽に偏りがあり、我が国や郷土の伝統的な音楽など多様な音楽に親しみ、よさを味わったり、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化についての関心や理解を深めたりすること」や、「音楽を知覚したことや感受したこととの関わりについて考え、音楽表現を創意工夫すること」に対応する教科書として、以下の理由のとおり、教育芸術社の教科書が、本市で使用する教科書としてよりふさわしいと考える。 (理由) ・ 「学びのコンパス」において、学習の内容や手順を示したり、吹き出しを付した生徒や教師のキャラクターを複数掲載したりして、生徒の思考を促している。また、音楽表現を創意工夫するための注目するポイントについて、〔共通事項〕に示された「音楽を形づくっている要素」の具体例で示している。 ・ 郷土の祭りや芸能で和太鼓が使われている場面や、様々なジャンルの楽器と和楽器が共演している場面の写真が掲載されている。また、同世代の中学生が、和楽器の演奏に取り組んでいる様子を、写真やインタビューとともに掲載されている。

教 科	種 目	発行者	採 択 理 由
美術	美術	光村図書出版	本市生徒の課題である「感性や想像力を働かせて、思考・判断し、表現したり鑑賞したりするなどの資質・能力を相互に働かせながら育成すること」と「生活を美しくする造形や美術の働き、美術文化についての実感的な理解を深め、生活や社会と豊かに関わる態度を育成すること」に対応する教科書として、以下の理由のとおり、光村図書出版の教科書が、本市で使用する教科書としてよりふさわしいと考える。 (理由) ・ 「みんなの工夫」のコーナーでは、生徒の制作における試行錯誤の過程を詳しく紹介することで、生徒が感性や想像力等を豊かに働かせて、思考・判断しながら表現する活動を行うことをできるようにしている。 ・ 見開きや折り曲げの大型図版や原寸大で作品掲載を行い、【美術２・３】「日本の絵画を楽しむ５つのキーワード」では、和紙のような風合いの用紙に作品掲載を行っており、より本物に近い感覚で作品を味わうことができ、感性や想像力を豊かに働かせて鑑賞の活動を行い、美術文化について実感的な理解を深めることをできるようにしている。 ・ 【美術１】の巻末「美術鑑賞を楽しむ手がかり」のページで、鑑賞のポイントとともに、「美術鑑賞を広げる言葉」を示しており、生徒が言語活動を充実させながら、感性や想像力等を豊かに働かせて、思考・判断しながら鑑賞の活動を行うことをできるようにしている。 ・ 【美術１資料】において、形や色彩、材料や用具の取扱い及び表現方法等に関して、３年間活用できる資料を別冊に掲載することで、生徒が自らの主題を表すために、感性や想像力を働かせて、思考・判断し、表現の活動を行うことをできるようにしている。
保健体育	保健体育	大修館書店	本市の実態や生徒の課題である「災害への知識と備えが必要な地域である」「体力低下や、１週間の総運動時間の減少といった運動習慣に課題がある」「スクリーンタイムや朝食欠食の増加といった生活習慣に課題がある」ことに対応する教科書として、以下の理由のとおり、大修館書店の教科書が、本市で使用する教科書としてよりふさわしいと考える。 (理由) ・ 小単元「休養・睡眠と健康」の「コラム」で、スマホと疲労について示している。また、特集資料「見直そうスマホの習慣」で、インターネットへの依存度をチェックする内容があり、自分の生活習慣を見直すきっかけとなる学習活動を設定している。さらに、インターネット依存について相談できるところを掲載している。 ・ 特集資料「体力を高めよう」で、体力の要素を体づくり運動との関係で示している。また、今の自分の体力を調べ、ねらいを持って体力を向上させるための計画を立てる学習活動を具体例とともに示しており、体力向上や運動習慣の定着につなげる工夫がなされている。 ・ 小単元「自然災害によるけがの防止」、特集資料「気象災害から命を守る行動」、「地震災害から命を守る行動」で、自然災害による傷害の防止について示すとともに、二次災害、緊急地震速報、ハザードマップ、警戒レベル、命を守る行動などを取り上げている。また、インターネットを使って自分が住んでいる地域のハザードマップを実際に調べる学習活動を設定している。さらに、小単元「災害と環境」で、災害による衛生環境の悪化や災害に関する情報の活用法などを掲載している。 ・ 「心肺蘇生法」等、日常生活に生かすことができる実習の具体例を10箇所掲載している。

教 科	種 目	発 行 者	採 択 理 由
技術・家庭	技術・家庭 (技術分野)	開隆堂出版	本市生徒の「世の中の最新技術に触れる機会が多いため、技術分野の学習への関心が高いが、生活をしていて困ることや不便だと感じるものが少ない」、「課題を設定した上で解決策を構想し、具体化した実践を評価・改善するなどの問題解決学習を行う力に課題がある」という状況に対応する教科書として、以下の理由のとおり、開隆堂出版の教科書が、本市で使用する教科書としてよりふさわしいと考える。 (理由) ・ 技術分野の学習過程の要素である「生活や社会を支える技術」、「技術による問題の解決」、「社会の発展と技術」の3つ全てを巻頭「技術分野の学習の流れ」において示し、各要素について4コマ漫画を使って説明するとともに、学習の流れのイメージ図を掲載している。 ・ 第3学年で扱う統合的な問題解決については、学習内容AからDとは別に「技術分野の出口」を設け、統合的な問題解決の学習について例示している。また、「技術分野での問題解決をふり返ろう」を掲載し、3年間で学習した内容を踏まえて統合的な問題解決に取り組むことができるようにしている。 ・ 学習を振り返って自らの学びにつなげることができるように、「問題解決のふり返りシート」をAからDの各学習内容に計4箇所掲載している。 ・ 実践的・体験的な問題解決学習の具体例の名称について、「小さなスペースで机の上を整理・整頓できるマルチラック」など、何を目的としたものかが具体的にわかるようになっている。
技術・家庭	技術・家庭 (家庭分野)	開隆堂出版	本市の実態である「自然災害が多く発生していることから、災害への知識と備えが必要な地域であること」や、本市生徒の課題である「生活の中から問題を見いだして解決する力や、生活を工夫し創造しようとする態度の育成」に対応する教科書として、以下の理由のとおり、開隆堂出版の教科書が、本市で使用する教科書としてよりふさわしいと考える。 (理由) ・ 巻頭のガイダンスで、2ページにわたり、「生活課題に取り組む」として、生活課題の見つけ方を最初に掲載し、取り組み方および目標達成シートの例を掲載している。また、巻末の「生活の課題と実践」で、12ページにわたり、課題設定の記述欄、学習の進め方、取り組み方の例、実践例を10例とまとめ方の例を掲載している。さらに、実践例は調査や実習だけでなく、実験を中心とした取組例も含まれている。 ・ 調理手順中に複数の「Q」を示し、調理手順の下部に「調理方法Q&A」としてまとめ、「なぜ～？」と考えさせる示し方で調理のポイントを解説している。 ・ 「わたしたちの防災～防災があたりまえの生活に～」として、8ページにわたり、防災に関する特集としてハザードマップなどを掲載しており、災害時の備えについて具体的に考えることができるようになっている。

教科	種目	発行者	採 択 理 由
外国語	英語	東京書籍	本市生徒の課題である「文における基本的なイントネーションや区切りなどの音声の特徴を踏まえて、情報を正確に聞き取ること、自分の考えとその理由などを適切に表現すること、語順の誤りなく正確に表現すること」に対応する教科書として、以下の理由のとおり、東京書籍の教科書が、本市で使用する教科書としてよりふさわしいと考える。 (理由) - 英語の語順について、「Grammar for Communication」に、文の構成要素を色と形で分けて示している。また、巻末付録として、生徒自身が単語を並べて、英文を作ること、語順を意識することができるよう、「語順カード」を収録している。 - 基本本文のまとめは、各学年の資料編の「Key Sentences」に英語と日本語で示している。また、第3学年は、第1・2学年の基本本文も英語で示している。 「聞く」技能に焦点を当てた活動は、「Real Life English」で、各学年1～3回設定するとともに、第1学年では、「Sounds and Letters」を5回設定している。 - 各活動のテーマは、目的や場面、状況が分かるように、「カナダのバンクーバーの生徒に日本の郷土や文化になどについて説明する」や「日本にホームステイに来る留学生に日本の習慣やマナーの紹介しよう」等、様々なテーマを具体的に設定している。また、デジタルコンテンツの「ビデオレター」にアクセスできる二次元コードを付して、目的や場面、状況をより明確に示している。 - 各学年に設定されている「Stage Activity」で、情報を整理し考えを形成するための「マッピング」やキーワードをまとめる表を示している。また、デジタルコンテンツの「思考ツール」にアクセスできる二次元コードを付している。
特別の教科 道徳	道徳	日本文教出版	本市生徒の課題である「いじめの未然防止に向けた取組を引き続き推進するとともに、生徒の命の大切さや思いやりなどの豊かな心をはぐくみ、当事者として道徳的な課題に主体的に対処することのできる、実効性ある力を育成する」ことに対応する教科書として、以下の理由のとおり、日本文教出版の教科書が、本市で使用する教科書としてよりふさわしいと考える。 (理由) - 多面的・多角的な視点で、自分の価値観を見つめ直し、考えを深めることができるように、「考えてみよう」、「自分に+1（プラスワン）」等、考え話し合うことを促す発問を示している。また、各学年、「学びを深めよう」の「学びを深めるヒント」のコーナーに、図や表、付箋や思考ツール等を活用し、話し合いを深める方法を掲載している。 1教材1ページで構成した別冊「道徳ノート」では、授業で考えることや、考えたことを記入する欄、他者の考えや話し合いをメモすることができる自由欄等を設けている。さらに、様々な教材に対応できるように、教材名や内容項目、主題名等を空白にした自由に使えるページを設けている。 「いじめと向き合う」というテーマで、各教材とコラムをユニット化し、年間で複数学習できるよう、各学年2つ以上のユニットを設定している。それぞれに扉ページを設け、いじめに対するメッセージを投げかけたのち、次のページから教材が始まる。さらに、いじめと向き合うための「視野を広げて」というコラムが設けられており、より内容を深められるように、コラムの中に、「いじめって何?」「怒りの感情と上手に付き合おう」といった、いじめについて考え合うための資料を、生徒の発達の段階に応じて全学年に掲載している。